

側頭葉てんかんと扁桃体腫大

部分てんかんが側頭葉から起きるものを側頭葉てんかんと言います。側頭葉てんかんの原因の一つに、側頭葉の内側にある扁桃体という部分が腫れること(扁桃体腫大)が関連していることがわかっています。

扁桃体腫大についてはまだ不明な点が多いのですが、その原因の可能性として、

①脳腫瘍

②脳炎

③自己免疫性の機序

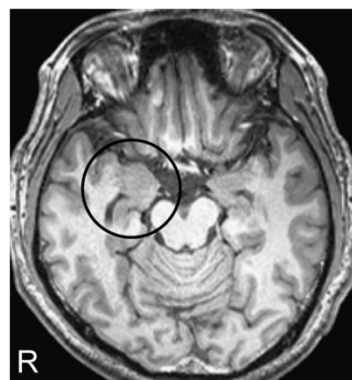
があげられます。

③自己免疫性の機序とは、本来、自分の体を守るシステムが誤って自分自身を攻撃してしまうもので、これらが起きるきっかけは、関節リウマチ、筋炎などで知られる膠原病という病気、アレルギー、悪性腫瘍(卵巣腫瘍、肺癌、胸部の縦隔腫瘍など)が挙げられます。

扁桃体腫大の方に詳しく検査を受けていただく場合、上記のような原因がないかを調べることがあります。具体的には、頭のMRI検査、FDG-PET検査、脳波検査、血液検査、髄液検査などを行うことがあります。

一般的に、てんかんの治療は最初に薬物治療を行いますが、扁桃体腫大を同時にもつてんかん患者さんでは、一部に、扁桃体腫大の原因を治療することがてんかんの治療にもなる方がいます。つまり、免疫を抑えるような治療をすることもあります。

(これらの詳しい検査や治療は原則として入院で行い、その詳細は入院担当医からも説明、相談をいたします。)



(扁桃体腫大の論文報告より引用)